



2023年8月9日

各 位

会 社 名 イフジ産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井 宗徳
(コード：2924：東証スタンダード・福証)
問合せ先 常務取締役経営企画部長 原 敬
(TEL. 092-938-4561)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月8日に「2023年3月期 決算短信(連結)」で公表しました2024年3月期の業績予想及び配当予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2024年3月期第2四半期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2023年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,185	百万円 798	百万円 808	百万円 500	円 銭 60.80
今回修正予想(B)	13,241	1,203	1,242	1,023	124.18
増減額(B-A)	1,056	405	434	523	
増減率(%)	8.7%	50.6%	53.7%	104.5%	
(参考)前期第2四半期実績(連結) (2023年3月期第2四半期)	8,928	668	689	475	57.88

2024年3月期通期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 24,865	百万円 1,636	百万円 1,652	百万円 1,119	円 銭 136.00
今回修正予想(B)	24,865	1,798	1,844	1,440	174.69
増減額(B-A)	—	162	192	321	
増減率(%)	—	9.9%	11.6%	28.6%	
(参考)前期実績(連結) (2023年3月期)	20,891	1,575	1,615	1,116	135.65

2024年3月期第2四半期個別業績予想の修正（2023年4月1日～2023年9月30日）

（百万円未満切捨て）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 11,631	百万円 789	百万円 491	円 銭 59.75
今回修正予想（B）	12,619	1,205	998	121.11
増減額（B－A）	988	416	507	
増減率（％）	8.5%	52.7%	103.0%	
（参考）前期第2四半期実績（個別） （2023年3月期第2四半期）	8,424	674	470	57.16

2024年3月期通期個別業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

（百万円未満切捨て）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 23,719	百万円 1,615	百万円 1,098	円 銭 133.38
今回修正予想（B）	23,719	1,759	1,384	167.90
増減額（B－A）	—	144	286	
増減率（％）	—	8.9%	26.0%	
（参考）前期実績（個別） （2023年3月期）	19,807	1,579	1,097	133.27

2. 業績予想の修正理由

第2四半期累計の販売数量につきましては、液卵関連事業において、極度の鶏卵不足の中、当社の液卵供給に対し取引条件等を見直した結果、一部の得意先に販売数量の制限を行ったことや新規拡販を控えたこと、また、得意先である食品メーカーにおいて鶏卵使用製品の出荷を制限したことや新商品販売を控えたこと等により液卵の使用量が減少し、当初予想よりも販売数量は減少する見込みとなりました。

第2四半期累計の売上高につきましては、調味料関連事業については順調に推移しており、液卵関連事業において過去最大規模の鳥インフルエンザの発生に伴う鶏卵の供給不足により鶏卵相場が当初の予想よりも上昇し、連動する液卵の販売単価も上昇しております。また、液卵の安定供給のため原料の買い付けを優先したため原料の仕入価格の高騰が見込まれることから販売価格の改定を進めてまいりました。この結果、連結、個別ともに当初予想を上回る見込みとなりました。

第2四半期累計の損益につきましては、販売価格の改定及び原料調達コストや製造コストの増加に対応するための様々な施策を講じたこと等により、営業利益及び経常利益は、連結、個別ともに当初予想数値を上回る見込みとなりました。また、役員退職慰労金を支給したことに伴い課税所得が減少し法人税等が低く抑えられることにより、親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益及び当期（四半期）純利益につきましても当初予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の売上高につきましては、調味料関連事業は引き続き順調に推移するものの液卵関連事業において鶏卵の供給不足の解消が進み鶏卵相場が下降し、また、販売数量が当初予想よりも減少して推移することが見込まれることから、連結、個別ともに前回予想を据え置くこととしました。また、引き続き液卵の安定供給を優先するための各種施策を実施することにより、下期の原価は悪化すると予想されるものの、通期の損益につきましては、営業利益及び経常利益は、連結、個別ともに当初予想数値を上回る見込みとなりました。

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	16円00銭	20円00銭	36円00銭
今回修正予想	26円00銭	20円00銭	46円00銭
当期実績	—	—	—
前期実績 (2023年3月期)	14円00銭	21円00銭	35円00銭

4. 配当予想の修正理由

上記のとおり業績予想が前回予想を上回る見込みとなったことから、中間配当金の予想金額を当初の16円00銭から26円00銭（当初予想より10円増配）に修正させていただきます。なお、期末配当金につきましては据え置きとし、年間の配当金は46円00銭（当初予想より10円増配）とさせていただきます予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後鳥インフルエンザの発生による鶏卵需給の逼迫や鶏卵相場の変動等、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上